

全国大会で飛躍を誓う

中里ジュニアクラブ(陸上)

6月30日(火)、4×100mリレーで見事に全国大会の切符を手中にした5人が、町長に出場を報告しました。

全国小学生陸上競技交流大会青森県選手選考会は6月28日(日)に開催され、第1走者が大屋慎くん、第2走者が三上智暉くん、第3走者高松紘生くん、アンカー加藤登夢くん、控えに外崎達矢くんの布陣で挑み、53秒06のタイムで優勝しました。

町長室に訪れた5人は、バトンリレーでの腕の出し方やタイミングなど、練習や予選会での苦労を話していましたが、全国大会に向けて「スタートに失敗しないでバトンリレーしたい。」(大屋くん)、「先生の注意を聞いて、決勝進出を目指したい。」(三上くん)、「タイミングに注意し、きちんとバトンリレーしていい順位を。」(高松くん)、「全国では速い人がたくさんいる。バトンを失敗せず、いい成績を目指す。」(加藤くん)、「補欠だけど、100mの個人があるのでいい成績を残したい。」(外崎くん)と、それぞれ抱負を述べていました。



中里中学校(陸上・相撲)



7月17日(金)、陸上と相撲で全国大会出場を果たした7人の生徒たちが、外崎校長、佐藤先生とともに町長を訪れ、出場を報告しました。

全国大会に出場するのは、陸上競技男子4×100mリレーで岡拓司くん、長利賢一くん、東山公真くん、外崎直人くん、小野秀斗くん、成田利紀くんの6人と、相撲の打越奎也くんです。

皆さん緊張気味に町長へ報告を行いました。全国大会に向けてリレーのメンバーは、「目標は優勝!!」「緊張せずいいタイムを。」「先輩たちを応援したい。」と述べ、相撲の打越くんは「全国では非常に厳しいが、全力で当たっていく。」と抱負を語っていました。

町長は訪れた生徒たちに対して、「出場おめでとう。リレーは陸上の花形、九州は暑いがんばって。」「打越くんは全国大会の常連。けがをせずがんばって。」と、それぞれに声をかけていました。

陸上は8月21日(金)～24日(月)に大分県で、相撲は8月9日(日)に両国国技館で全国大会が開かれます。

中里ジュニアクラブ(卓球)

町体育センターで7月20日(月)に開かれた「第5回津軽地区小学生卓球選手権大会」の開会式終了後、全国ホープス卓球大会に団体で出場する中里ジュニアクラブの工藤彩さん(五所川原市三輪小学校)、福士鈴奈さん(薄市小学校)、赤石明さん(六ヶ所村泊小学校)が、近村会長とともに町長へ全国大会出場を報告しました。

毎年全国大会へ出場する同クラブの成績に町長も感心しきりで、全国大会での活躍を期待していました。

全国大会は8月4日(火)～6日(木)、東京体育館で開かれます。



大会に出場する皆さん、ケガなくがんばってきてください

